

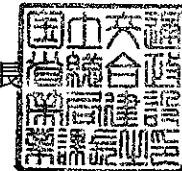
国総施第123号
国総建第241号
国総振第124号
平成17年12月13日

社団法人
日本建設機械化協会 会長 殿

国土交通省総合政策局 建設施工企画課長



国土交通省総合政策局 建設業課長



国土交通省総合政策局 建設振興課長



リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について（11月分）

今般、国土交通省に対し、下記のリコールの届出がなされたところであるが、建設作業現場における当該建設機械の使用に際しては、事故防止の観点から貴団体傘下の会員各社に対し周知されたい。

記

1. 届出日 別紙のとおり
2. 届出者 //
3. 建設機械名 //
4. 通称名 //
5. 型式 //
6. 不具合の部位 //
7. 内容 //

※国土交通省のホームページに「リコール・改善対策の届け出」があったものを掲載しております。
アドレスは下記のとおりです。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall105/recall_.html

建設機械に係わるリコール届一覧 (期間:平成17年11月分)

番号	届出日	届出者	建設機械名	通称名	型式	不具合の部位	リコール対象台数
1	平成17年11月10日	(株)加藤製作所	ホイール・クレーン	カトウKR-13H(M)型ラフター	SC-KR130	電気装置 (電気配線)	230台
2	平成17年11月11日	(株)小松製作所	ホイール・クレーン	LW250-5	L003	変速機 (コントロールバルブ)	436台
3	平成17年11月21日	小松フォークリフト(株)	ホークリフト	-	M200,M201,M202,M203,M204,M207, M208,M212,M213,SM201,SM202	電気装置 (配線)	393台
4	平成17年11月29日	TCM(株)	ホークリフト	L13,L16,LX70,LX80,FL310,FL315	SB-S50,SC-S51,SB-HS50,SC- HS51,SB-FS50,SC-FS51	動力伝達装置 (静油圧変速機走行モータ)	249台
5	平成17年11月29日	新キヤタビラー三菱(株)	ショベル・ローダ	910QII	B9X	動力伝達装置 (静油圧変速機走行モータ)	292台
6	平成17年11月29日	(株)小松製作所	ショベル・ローダ	WA150-5,WA200-5,WA270- 5,WA320-5	W108,SB-W108,W109,SC- W109,W104,SC-W104,W105,SC- W105	動力伝達装置 (静油圧変速機走行モータ)	112台
7	平成17年11月29日	日産自動車(株)	フォークリフト	ニッサンフォークリフト	NL01,NAL01,NQL01,SA- NQL01,NL02,NTL02,LPL02,LAPL02, SB- LYL02,PL02,UL02,UGL02,YL02,SB- YL02,YGL02,SB-YGL02	電気装置 (メーターパネル)	230台
8	平成17年11月30日	住友ナコ マテリアル ハンドリング(株)	フォークリフト	8FB30P,FB38PE,FB40PE	8F3B,B4A,B4B	動力伝達装置 (車両走行制御コントロール)	5台

※詳細は別添の「リコール届一覧表」を参照して下さい。

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線42353
 アドレス : http://www.mlit.go.jp

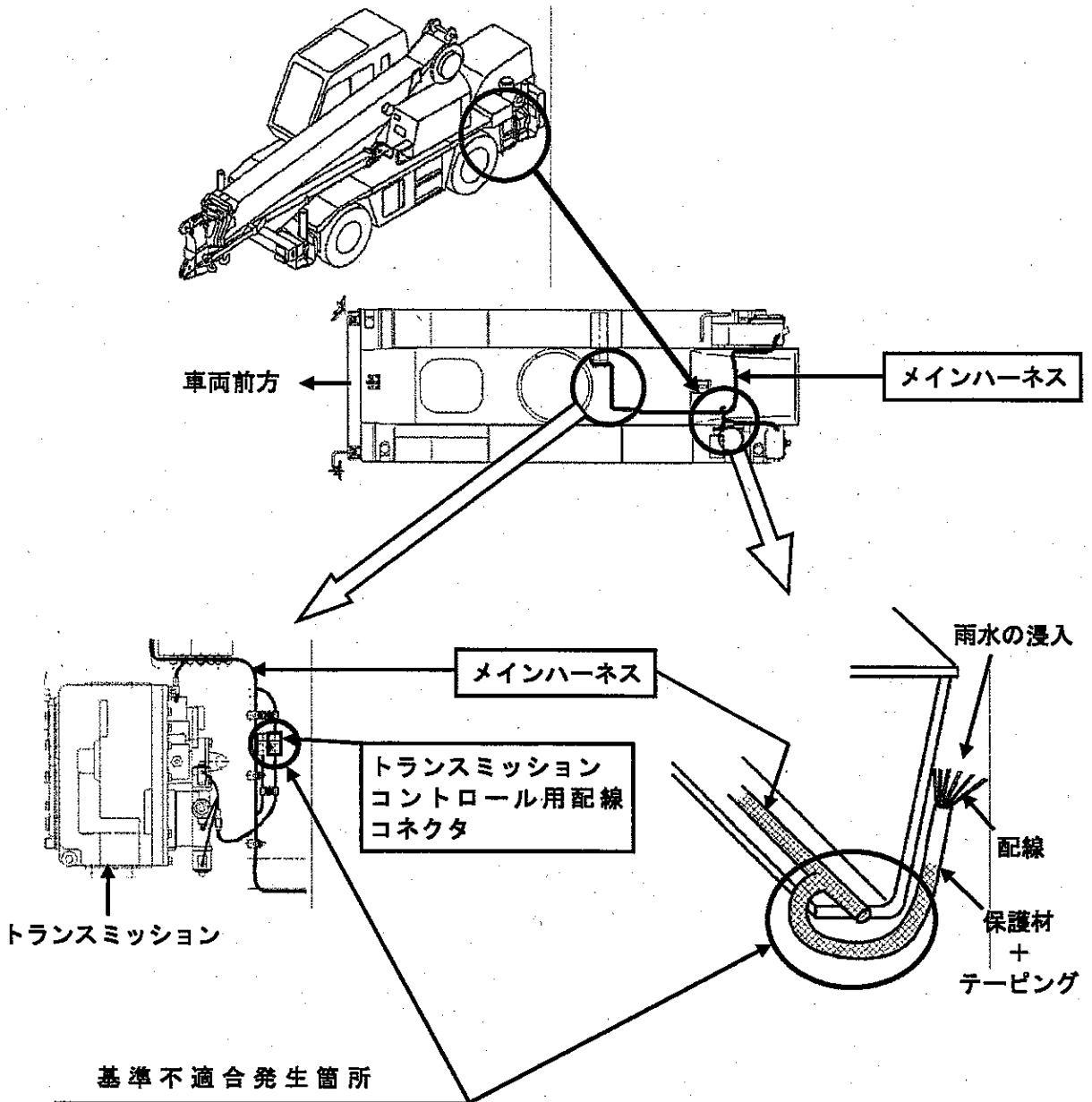
リコール届出一覧表

リコール届出日：平成17年11月10日

リコール届出番号	1547	リコール開始日	平成17年11月11日
届出者の氏名又は名称	株式会社 加藤製作所 取締役社長 加藤 公康		問い合わせ先：プロダクトサポート部 TEL 03-3458-1122
不具合の部位(部品名)	電気装置 (電気配線)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	メインハーネス (電気配線) の保護材にビニールテープを隙間なく巻き付けてしまったため、当該ハーネス端部より浸入した雨水がハーネス内部に溜まり、トランスミッションコントロール用配線コネクタ内部に達するものがある。 そのため、そのままの状態で使用を続けると、コネクタ内部で漏電して変速不良が発生し、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ハーネスを対策品と交換するとともに、これに接続されるコネクタを併せて交換する。		
不具合件数	25件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者：ダイレクトメールまたは直接訪問して通知する。 ・ 自動車分解整備業者：全ユーザーを把握しているため、周知のための措置はとらない。 ・ 改善措置実施済車には、運転者席後面ガラスの右下部に「No.1547」のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
カトウ	SC-KR130	カトウ KR-13 H(M) 型ラフター	KR130-0053 ~ KR130-0282 平成15年12月11日～平成17年2月7日	230台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間全体の範囲) 平成15年12月11日～平成17年2月7日	(計230台)	

改善箇所説明図



メインハーネス（電気配線）の保護材にビニールテープを隙間なく巻き付けてしまったため、当該ハーネス端部より浸入した雨水がハーネス内部に溜まり、ミッションコントロール用配線コネクタ内部に達するものがある。
 そのため、そのままの状態で使用を続けると、コネクタ内部で漏電して変速不良が発生し、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。

改善の内容
 全車両、ハーネスを対策品と交換するとともに、これに接続されるコネクタを併せて交換する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：改善措置作業完了車には、ハーネスの保護チューブ端部に白色のテープを巻く。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 cc)	備考
カトウ	SC- KR130	カトウ KR-13H(M)型 ラフター	大型特殊	ホイール・クレーン	日野 W04D (4,009)	

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42-353
 URL:http://www.mlit.go.jp

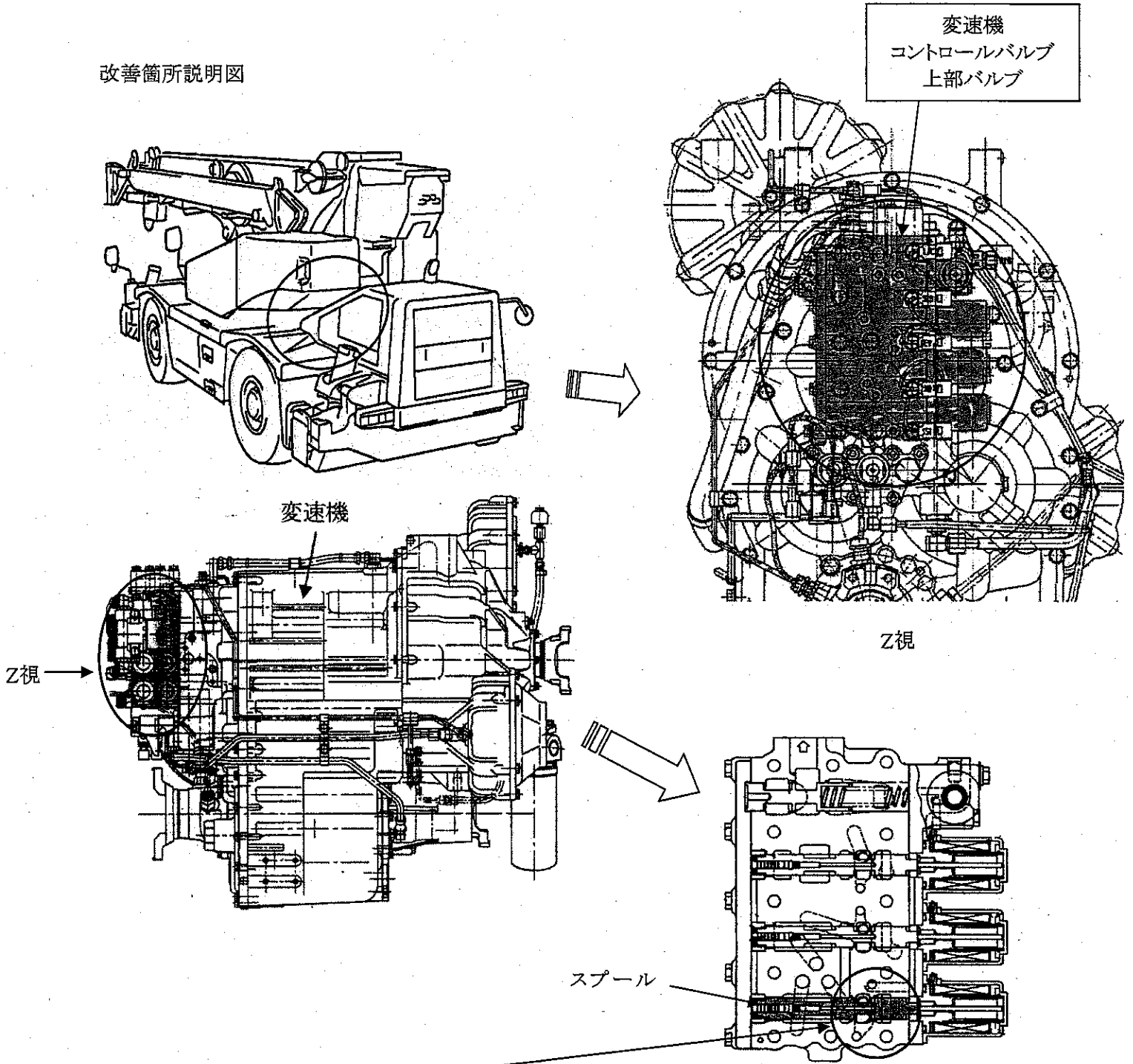
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成 17年 11月 11日

リコール届出番号	1558	リコール開始日	平成 17年 11月 11日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根 正弘	製作者名:株式会社 小松製作所 問い合わせ先:品質保証部 03-5561-2686	
不適合の部位(部品名)	変速機(コントロールバルブ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	変速機のコントロールバルブにおいて、上部バルブにフィルタを設けていないため、内部に混入した異物を除去できないことがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、クラッチ油圧を制御するスプールに異物を噛み込み、変速機が作動不良を起こし、最悪の場合、変速レバーが中立位置で車両が前進するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、変速機コントロールバルブの上部バルブをフィルタ付の対策品と交換する。		
不具合件数	9件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者を全て把握しており、直接電話等で連絡する。 ・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているので特に周知のための措置はとらない。 ・対策完了車には、ステッカ(No.1558)をキャブの後部窓内側左下に貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
小松メック	L003	LW250-5	L003-50001~L003-50324 (平成8年2月2日~平成10年1月28日)	319	
			L003-53001~L003-53105 (平成8年5月31日~平成10年3月20日)	105	
			L003-55001~L003-55012 (平成9年2月22日~平成10年3月19日)	12	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成8年2月2日~平成10年3月20日	(計436台)	

改善箇所説明図



基準不適合箇所

注: は、交換部品を示す。

変速機のコントロールバルブにおいて、上部バルブにフィルタを設けていないため、内部に混入した異物を除去できないことがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、クラッチ油圧を制御するスプールに異物を噛み込み、変速機が作動不良を起こし、最悪の場合、変速レバーが中立位置で車両が前進するおそれがある。

改善措置の内容 : 全車両、変速機コントロールバルブの上部バルブをフィルタ付きの対策品と交換する。

識別 : 当該バルブに黄色ペンキを塗布して識別する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備考
小松メック	L003	LW250-5	大型特殊 建設機械	ホイール・クレーン	6D125 (11,044)	

連絡先	:自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
TEL	:03-5253-8111 内線42353
アドレス	:http://www.mlit.go.jp

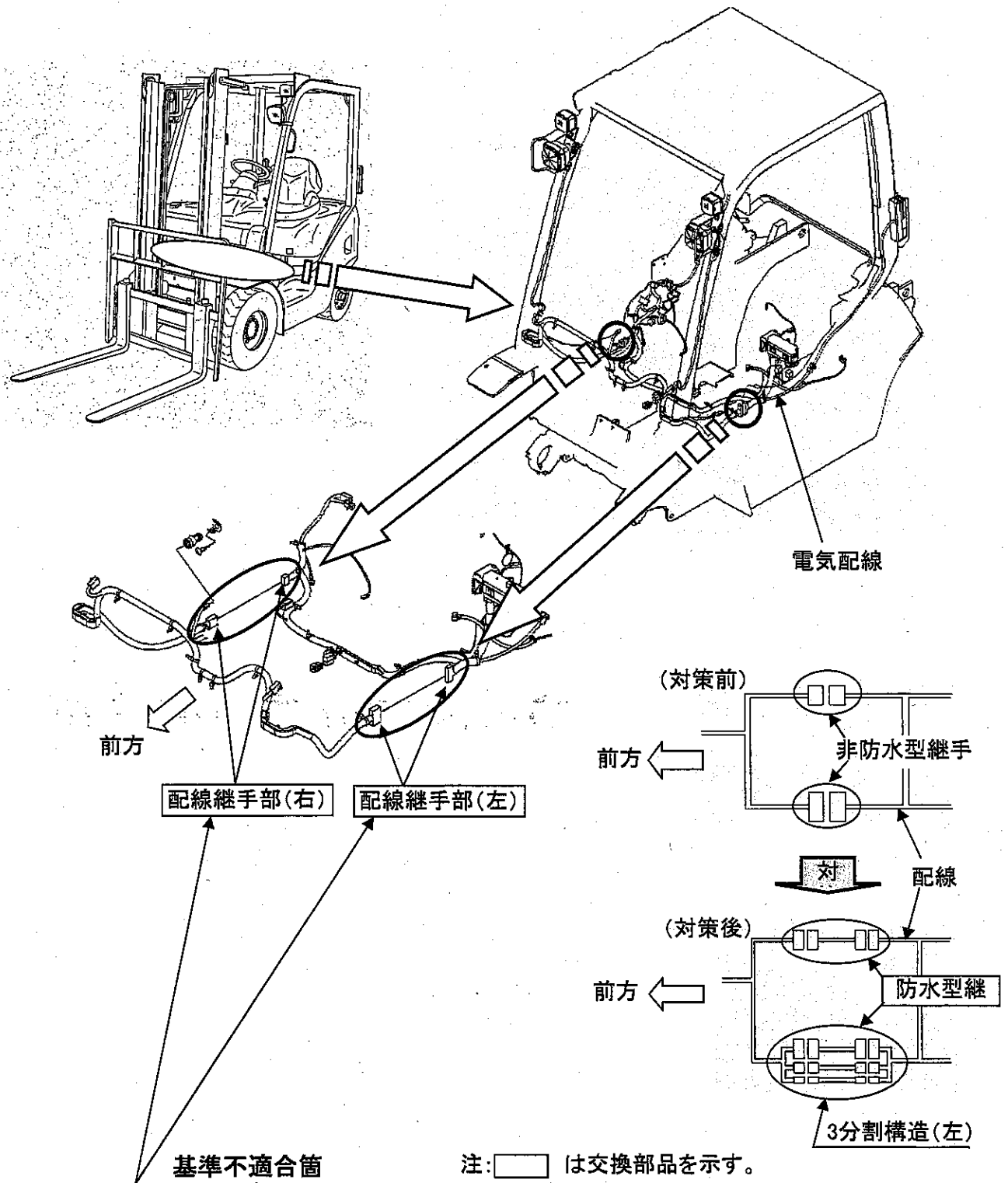
リコール届出一覧表

リコール届出日：平成17年11月21日

リコール届出番号	1562	リコール開始日	平成17年11月22日
届出者の氏名又は名称	小松フォークリフト株式会社 代表取締役社長 渋谷 武男		問合せ先:品質保証本部 品質保証部 TEL :0285-28-8750
不具合の部位(部品名)	電気装置(配線)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	車体に取付けられている電気配線の継手部の防水構造が不適切なため、洗車時等に当該部が直接被水した場合、内部に水が浸入することがある。そのため、そのまま使用を続けると、継手部内部の電気接点が腐食して、電気機器が正常に作動せず、最悪の場合、走行不能などの不具合が起こるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該電気配線の継手部一式を対策品と交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。(構内作業専用車)		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	①使用者:直接訪問し通知する。 ②分解整備事業者:全使用者を把握しているため、周知のための措置はとらない。 ③対策完了車両は、ステッカ(1562)をダッシュボード前面に取付けてある社銘板の上方に貼り付ける。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
小松	M200	—	M200-570195 ~ M200-583215 平成14年7月11日~平成17年2月4日	93台	
小松	M201	—	M201-582702 平成16年11月27日	1台	
小松	M202	—	M202-570949 ~ M202-582682 平成14年9月4日~平成16年12月15日	44台	
小松	M203	—	M203-572644 ~ M203-583116 平成14年12月25日~平成17年1月14日	15台	
小松	M204	—	M204-571052 ~ M204-576175 平成14年9月11日~平成15年9月8日	7台	
小松	M207	—	M207-571263 ~ M207-578115 平成14年9月17日~平成16年2月5日	8台	
小松	M209	—	M209-640106 ~ M209-646735 平成14年8月1日~平成17年1月5日	104台	
小松	M212	—	M212-640194 ~ M212-646809 平成14年8月10日~平成17年1月5日	29台	
小松	M213	—	M213-640498 ~ M213-646666 平成14年9月11日~平成16年12月23日	2台	
小松	SM201	—	SM213-570725 ~ SM213-581384 平成14年8月24日~平成16年9月9日	14台	
小松	SM202	—	SM202-570677 ~ SM202-583079 平成14年8月22日~平成16年12月22日	76台	
	(計11型式)	—	(製作期間の全体の範囲) (平成14年7月11日~平成17年2月4日)	(計393台)	

改善箇所説明図



車体に取り付けられている電気配線の継手部の防水構造が不適切なため、洗車時等に当該部が直接被水した場合、内部に水が浸入することがある。そのため、そのまま使用を続けると、継手部内部の電気接点が腐食して、電気機器が正常に作動せず、最悪の場合、走行不能などの不具合が起こるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該電気配線の継手部一式を対策品と交換する。

識別

左側配線継手部が3分割構造となるので、外観から容易に識別できる。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(L))	備考
小松	M200	—	小型特殊	ホークリフト	ニッサン H15 (1.486)	
小松	M201	—	大型特殊	ホークリフト	ニッサン H20 (1.982)	
小松	M202	—	大型特殊	ホークリフト	ヤンマー 4D94E (2.775)	
小松	M203	—	大型特殊	ホークリフト	ニッサン H25 (2.472)	
小松	M204	—	大型特殊	ホークリフト	ヤンマー 4D98E (3.318)	
小松	M207	—	小型特殊	ホークリフト	ヤンマー 4D94E (2.775)	
小松	M209	—	小型特殊	ホークリフト	ニッサン H15 (1.486)	
小松	M212	—	小型特殊	ホークリフト	いすゞ 4LB1 (1.499)	
小松	M213	—	大型特殊	ホークリフト	ヤンマー 4D92E (2.659)	
小松	SM201	—	小型特殊	ホークリフト	ニッサン H20 (1.982)	
小松	SM202	—	小型特殊	ホークリフト	ヤンマー 4D94E (2.775)	

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL03-5253-8111 内線 42353
 フォン : http://www.mlit.go.jp

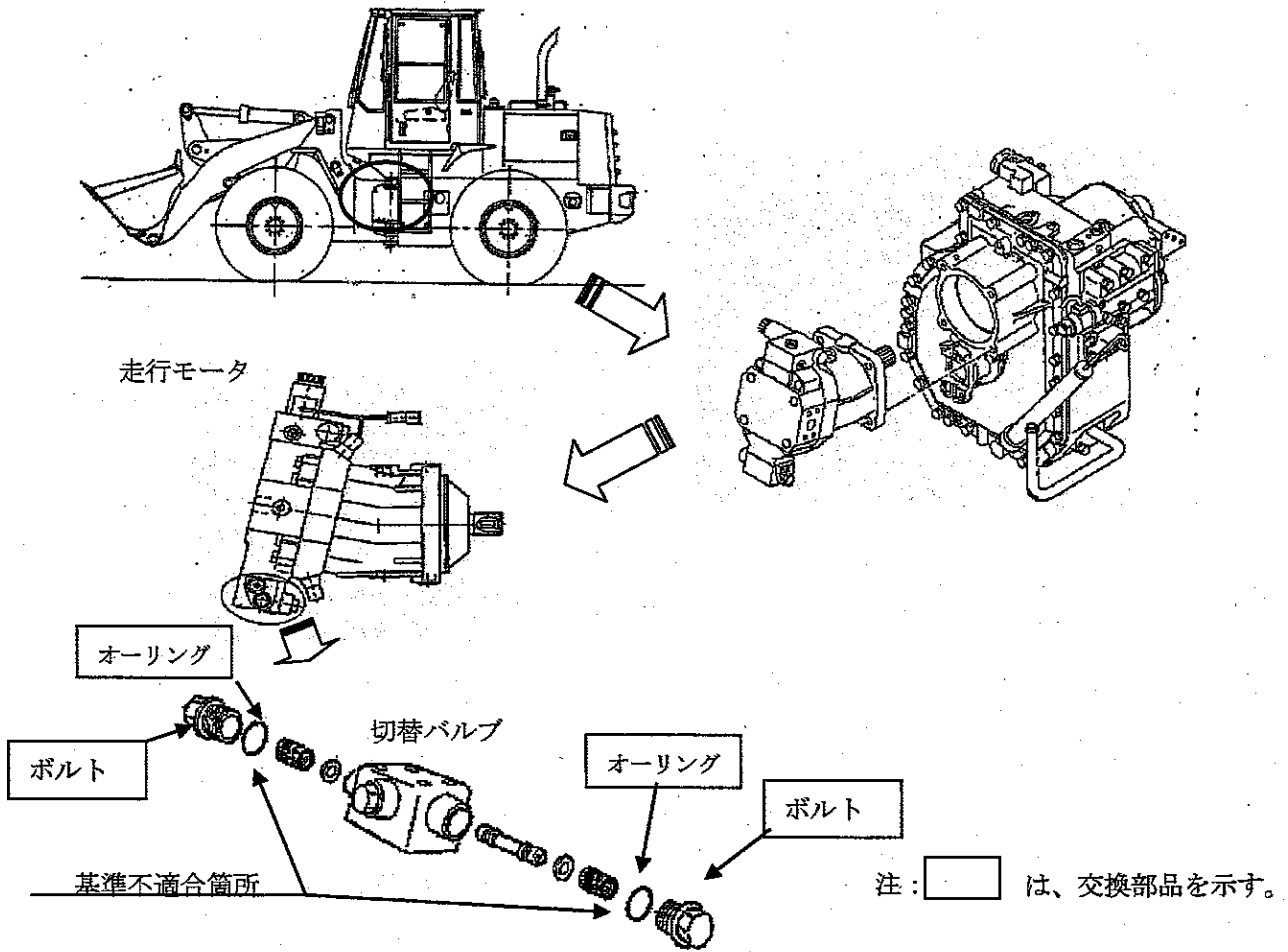
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成17年11月29日

リコール届出番号	1567	リコール開始日	平成17年11月29日
届出者の氏名又は名称	TCM株式会社 執行役社長 石木 厚重 問い合わせ先 竜ヶ崎工場 品質保証部 TEL 0297-62-4661		
不適合の部位 (部品名)	動力伝達装置 (静油圧変速機走行モータ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置または性能の状況及びその原因	静油圧変速機の走行モータの切替バルブにおいて、左右のボルトの締付けが不適切なため、使用過程においてボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ボルトの締付けを点検し、緩みのあるものはボルト及びオーリングを新品に交換し、ボルトを適切に締付ける。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	部品メーカーからの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者：電話または直接訪問にて通知する。 ・ 自動車分解整備事業者：使用者を全て把握しているため周知のための措置は特にとらない。 ・ 改善実施済車：キャビン右側面の後方下隅にステッカー (NO. 1567) を貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
TCM	SB-S50	L13	S50-05210～S50-05531 平成16年5月28日～平成17年1月26日	76	
	SC-S51	L16	S51-02130～S51-02226 平成16年5月20日～平成17年4月05日	37	
日立	SB-HS50	LX70	S50-05206～S50-05559 平成16年5月03日～平成17年2月09日	77	
	SC-HS51	LX80	S51-02142～S51-02215 平成16年6月23日～平成17年1月31日	13	
古河	SB-FS50	FL310	S50-05204～S50-05619 平成16年5月24日～平成17年3月07日	39	
	SC-FS51	FL315	S51-02131～S51-02198 平成16年5月24日～平成16年11月26日	7	
	(計6型式)	(計6車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成16年5月03日～平成17年4月05日	(計249台)	

改善箇所説明図



静油圧変速機の走行モータの切替バルブにおいて、左右のボルトの締付けが不適切なため、使用過程においてボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。

改善処置の内容： 全車両、ボルトの締付けを点検し、緩みのあるものはボルト及びオーリングを新品に交換し、ボルトを適切に締付ける。

識別： ボルトの端部に白ペンキを塗布し、識別する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (cc))	備考
TCM	SB-S50	L13	大型特殊 建設機械	ショベル ローダ	いすゞ4BG1 (4, 329)	
	SC-S51	L16	大型特殊 建設機械	ショベル ローダ	いすゞ4BG1 (4, 329)	
日立	SB-HS50	LX70	大型特殊 建設機械	ショベル ローダ	いすゞ4BG1 (4, 329)	
	SC-HS51	LX80	大型特殊 建設機械	ショベル ローダ	いすゞ4BG1 (4, 329)	
古河	SB-FS50	FL310	大型特殊 建設機械	ショベル ローダ	いすゞ4BG1 (4, 329)	
	SC-FS51	FL315	大型特殊 建設機械	ショベル ローダ	いすゞ4BG1 (4, 329)	

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室
TEL:03-5253-8111 内線 42353
アドレス:http://www.mlit.go.jp

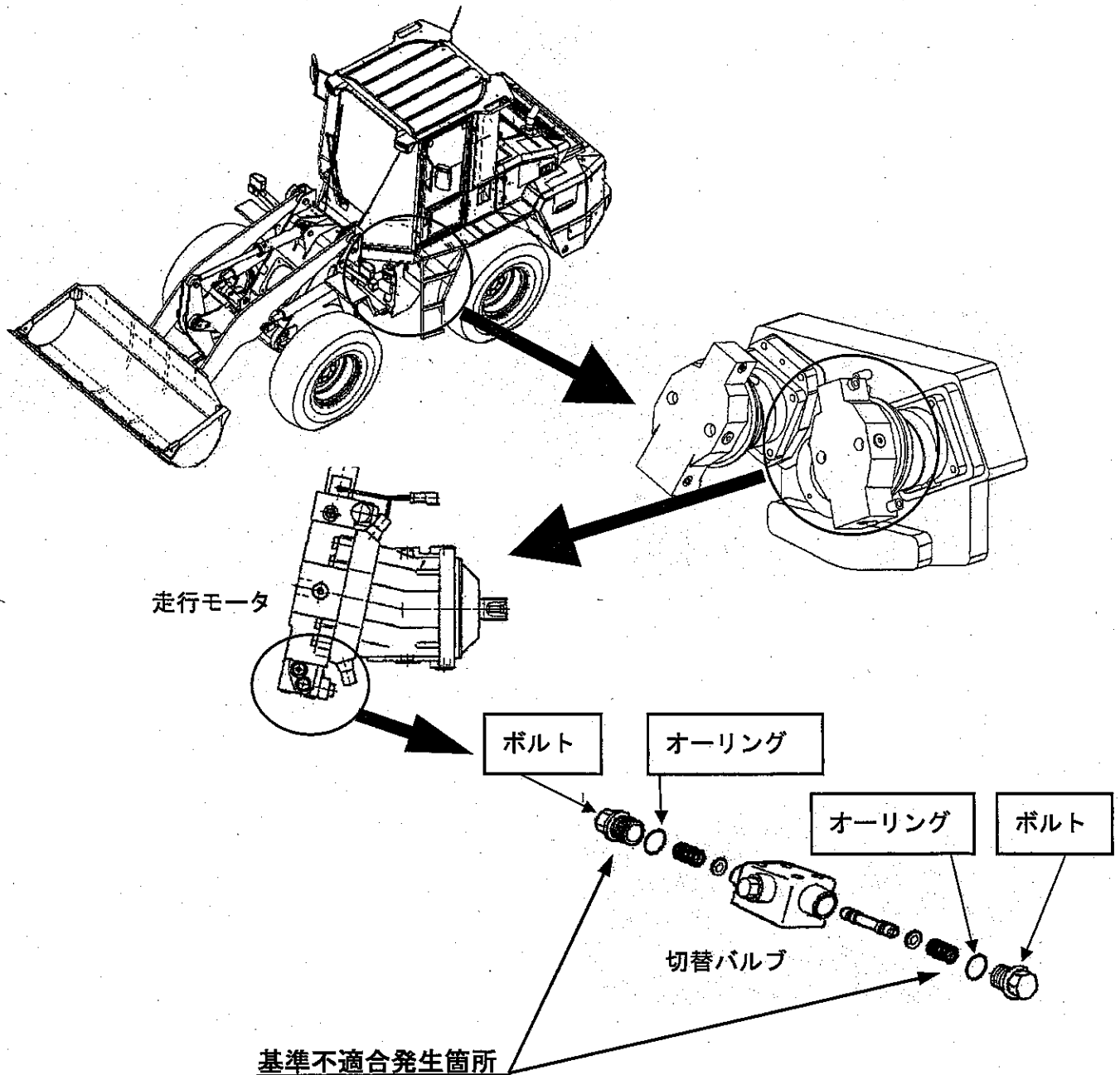
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成17年11月29日

リコール届出番号	1568	リコール開始日	平成17年11月29日
届出者の氏名又は名称	新キャタピラー三菱株式会社 代表取締役 広瀬 正典	製作国:日本 製作者名:新キャタピラー三菱株式会社 問合せ先:相模キャタピラー部 TEL:042(764)8662	
不具合部位(部品名)	動力伝達装置(静油圧変速機走行モータ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	静油圧変速機の走行モータの切替バルブにおいて、左右のボルトの締付けが不適切なため、使用過程においてボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ボルトの締付けを点検し、緩みのあるものはボルト及びオーリングを新品に交換し、ボルトを適切に締付ける。		
不具合件数	9件	事故の有無	無し
発見の動機	バルブサプライヤーからの報告による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:使用者を全て把握しているので、ダイレクトメール若しくは電話で通知する。 ・自動車分解整備業者:使用者を全て把握しているので、周知させるための措置はとらない。 ・改善処置済み車両には、キャブ後面ガラス左下に No. 1568 のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
キャタピラー	B9X	910G11	B9X001011~B9X01441 平成16年6月25日~平成17年3月4日	292台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間全体の範囲) 平成16年6月25日~平成17年3月4日	(計292台)	

改善箇所説明図



注： は、交換部品を示す。

静油圧変速機の走行モータの切替バルブにおいて、左右のボルトの締付けが不適切なため、使用過程においてボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、ボルトの締付けを点検し、緩みのあるものはボルト及びオーリングを新品に交換し、ボルトを適切に締付ける。

識別：ボルトの端部に白ペンキを塗布し、識別する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備考
キャタピラー	B9X	910GII	大型特殊・ 建設機械	ショベルローダ	CAT 3064-E3T (4,249)	

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL：03-5253-8111 内線 42-353
 URL：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

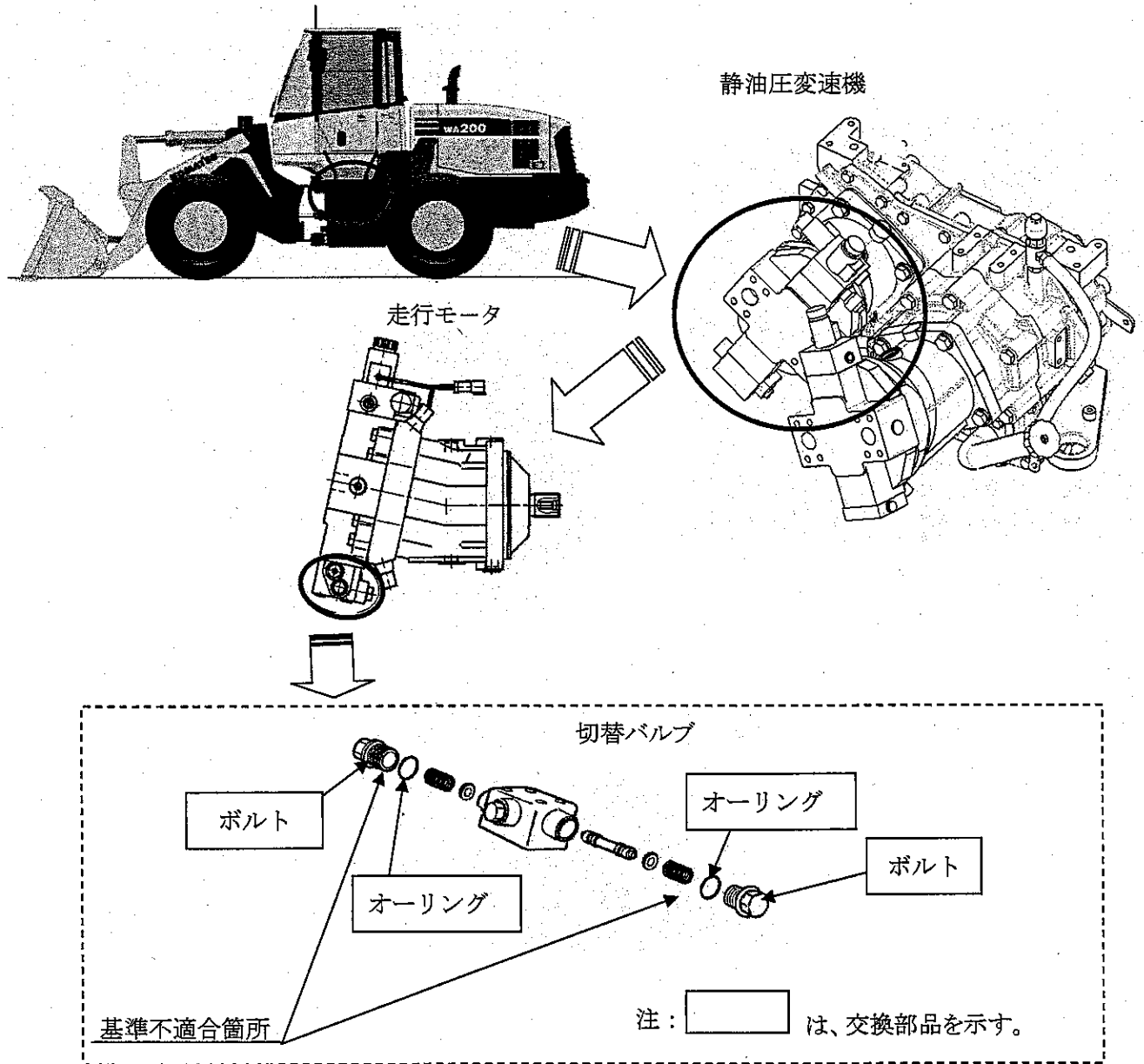
リコール届出日：平成 17年 11月 29日

リコール届出番号	1566	リコール開始日	平成 17年 11月 29日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根正弘 製作者名：株式会社 小松製作所 問い合わせ先：品質保証部 03-5561-2686		
不適合の部位(部品名)	動力伝達装置(静油圧変速機走行モータ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	静油圧変速機の走行モータの切替バルブにおいて、左右のボルトの締付けが不適切なため、使用過程においてボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ボルトの締付けを点検し、緩みのあるものはボルト及びオーリングを新品に交換し、ボルトを適切に締付ける。		
不具合件数	11件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者を全て把握しており、直接電話等で連絡する。 ・ 自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているので周知のための措置は特にとらない。 ・ 対策完了車については、ステッカ(No.1566)をキャブ内側の後部窓左下に貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
コマツ	W108	WA150-5	W108-65092 ～ W108-65105 平成 16年 4月 20日～平成 16年 5月 26日	1	
	SB-W108		W108-71001 ～ W108-71535 平成 16年 6月 14日～平成 16年 12月 23日	7	
コマツ	W109	WA200-5	W109-65311 ～ W109-65432 平成 16年 4月 20日～平成 16年 8月 26日	7	
	SC-W109		W109-65501 ～ W109-65711 平成 16年 7月 8日～平成 16年 12月 17日	39	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象 車の台数	備考
コマツ	W104	WA270-5	W104-70253 ~ W104-70457 平成16年4月20日～平成16年8月9日	3	
	SC-W104		W104-70501 ~ W104-70611 平成16年8月24日～平成16年12月15日	29	
	W105	WA320-5	W105-60205 ~ W105-60332 平成16年4月20日～平成16年8月9日	6	
	SC-W105		W105-65501 ~ W105-60597 平成16年8月24日～平成16年12月15日	20	
	(計8型式)	(計4車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成16年4月20日～平成16年12月23日	(計112台)	

改善箇所説明図 (例:W109)



静油圧変速機の走行モータの切替バルブにおいて、左右のボルトの締付けが不適切なため、使用過程においてボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。

改善措置の内容: 全車両、ボルトの締付けを点検し、緩みのあるものはボルト及びオーリングを新品に交換し、ボルトを適切に締付ける。

識別: ボルトの端部に白ペンキを塗布し、識別する。



白ペンキのマーキング

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 (cc))	備考
コマツ	W108	WA150-5	大型特殊 建設機械	ショベル・ローダ	4D102 (3,922)	
	SB-W108					
	W109	WA200-5			6D102 (5,883)	
	SC-W109					
	W104	WA270-5				
	SC-W104					
	W105	WA320-5				
	SC-W105					

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線42353
 フォクス : <http://www.mlit.go.jp>

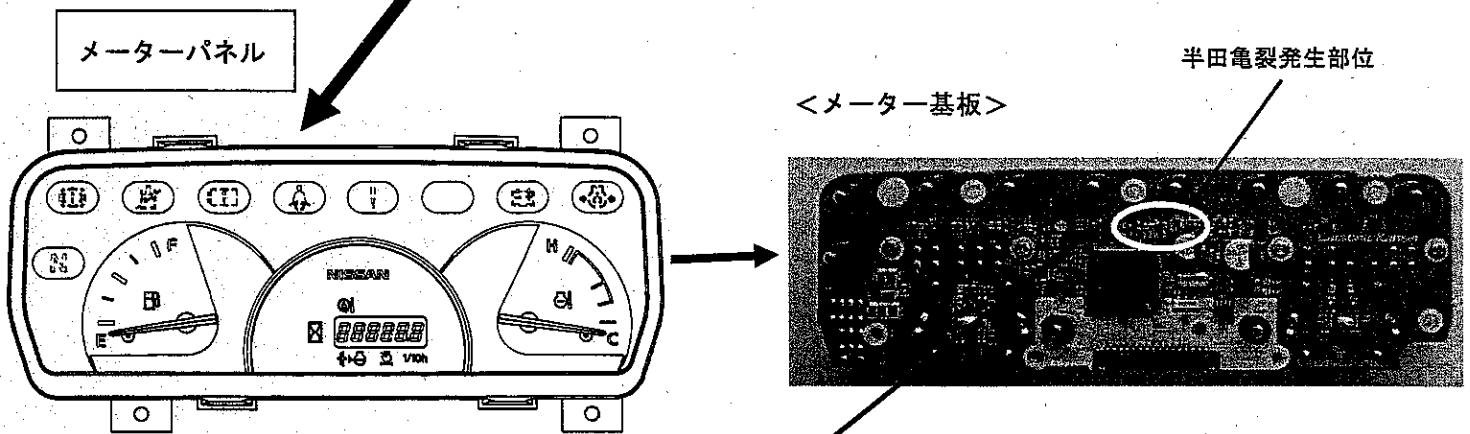
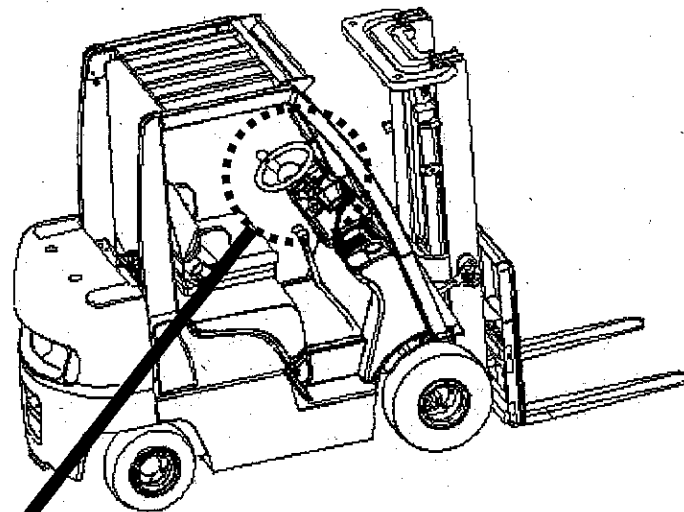
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成17年11月29日

リコール届出番号	1559	リコール開始日	平成17年11月30日
届出者の氏名又は名称	日産自動車株式会社 取締役社長 カルロス ゴーン	問い合わせ先:	産業機械事業部 技術部品質保証課 TEL 046-252-3294
不具合の部位(部品名)	電気装置(メーターパネル)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	自動変速機付車において、メーターパネルの基板が不適切なため、メーター内部の温度上昇による基板の熱膨張の繰返しにより、抵抗半田部に亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、シフトチェンジしてもパネル内のシフト位置情報が更新されなくなり、最悪の場合、前後進の切り替えができず、シフト位置と逆方向に走行するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、メーターパネルを対策品と交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。(構内作業専用車)		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:直接訪問、或いは電話により通知する。 ・分解整備事業者:全ユーザーが特定されている為、周知の処置はとらない。 ・改善実施済車には、インストパネル右側にNo.1559のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ニッサン	NL01	ニッサン フォークリフト	NL01-000004~NL01-001028 平成15年7月10日~平成17年7月29日	216	
	NAL01		NAL01-000001~NAL01-000093 平成16年8月2日~平成17年7月29日	60	
	NQL01 SA-NQL01		NQL01-000004~NQL01-000035 平成15年9月4日~平成17年6月20日	4	
	NL02		NL02-000004~NL02-000068 平成15年9月26日~平成16年12月16日	4	
	NTL02		NTL02-000004 平成15年12月24日	1	
	LPL02		LPL02-001010~LPL02-001044 平成16年8月16日~平成17年7月15日	8	
	LAPL02		LAPL02-000003~LAPL02-000012 平成16年9月2日~平成17年4月18日	2	
	SB-LYL02		LYL02-001022~LYL02-001062 平成16年9月27日~平成17年7月21日	10	
	PL02		PL02-000745~PL02-002575 平成16年2月6日~平成17年6月22日	4	
	UL02		UL02-000185 平成16年4月2日	1	
	UGL02		UGL02-000093~UGL02-000816 平成15年9月15日~平成17年6月20日	14	
	YL02 SB-YL02		YL02-000098~YL02-002907 平成15年8月19日~平成17年8月2日	18	
	YGL02 SB-YGL02		YGL02-000038~YGL02-001487 平成15年7月31日~平成17年6月27日	13	
	(計16型式)		(1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成15年7月10日~平成17年8月2日	(計355台)

改善箇所説明図



注： は、交換部品を示す。

基準不適合発生箇所

自動変速機付車において、メーターパネルの基板が不適切なため、メーター内部の温度上昇による基板の熱膨張の繰返しにより、抵抗半田部に亀裂が生じるものがある。
そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、シフトチェンジしてもパネル内のシフト位置情報が更新されなくなり、最悪の場合、前後進の切り替えができず、シフト位置と逆方向に走行するおそれがある。

改善内容

全車両、メーターパネルを対策品と交換する。

識別

メーターパネル裏面に、白ペイントを塗布する。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考
ニッサン	NL01	ニッサン フォークリフト	小型特殊・-	フォークリフト	K15 (1,486)	
	NAL01				三菱S4L (1,500)	
	NQL01				K15 (1,486)	
	SA-NQL01					
	NL02				三菱S4L (1,500)	
	NTL02				K21 (2,065)	
	LPL02					
	LAPL02				三菱S4S (3,331)	
	SB-LYL02				大型特殊・-	
	PL02					
	UL02	K25 (2,488)				
	UGL02	三菱S4S (3,331)				
	YL02					
	SB-YL02					
YGL02						
SB-YGL02						

連絡先: 国土交通省 自動車交通局 技術安全部
 審査課 リコール対策室
 電話番号: 03-5253-8111 内線: 42353
 アドレス: <http://www.mlit.go.jp>

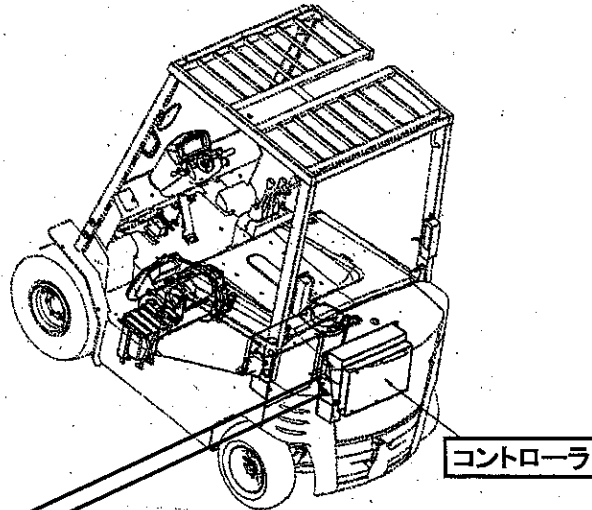
リコール届出一覧表

リコール届出日 : 平成17年11月30日

リコール届出番号	1557	リコール開始日	平成17年12月1日
届出者の氏名又は名称	住友ナコ マテリアル ハンドリング株式会社 代表取締役社長 木村 宣夫 (製作国: 日本 製作者名: 住友ナコ マテリアル ハンドリング株式会社) 問い合わせ先: 品質保証部 0562-48-5275		
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置(車両走行制御コントローラ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	車両走行制御コントローラにおいて、パワーモジュールのトランジスタの放熱性が不足しているため、トランジスタから発生する熱により高温になるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、トランジスタに過大電流が流れて破損し、走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該コントローラを対策品と交換する。		
不具合件数	2件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。(構内作業専用車)		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール又は直接訪問等で通知する。 ・自動車分解整備事業者:使用者を全て把握しているので周知の為の措置はとらない。 ・対策実施済み車:フロントカウル前面左側面にステッカー(No.1557)を貼付けする。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
SN	SB3B	8FB30P	SB3B-00015~SB3B-00018 :平成16年1月29日~平成16年5月19日	2台	
SN	B4A	FB35PE	B4A-10052 :平成16年10月12日	1台	
SN	B4B	FB40PE	B4B-10005~B4B-10014 :平成15年4月21日~平成15年10月28日	2台	
	(計2型式)	(計2車種)	製作期間の全体の範囲 :平成15年4月21日~平成16年10月12日	計5台	

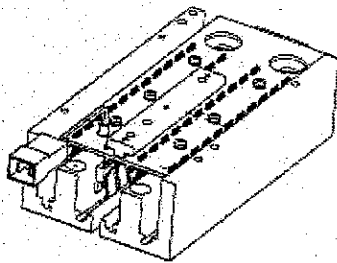
改善箇所説明図



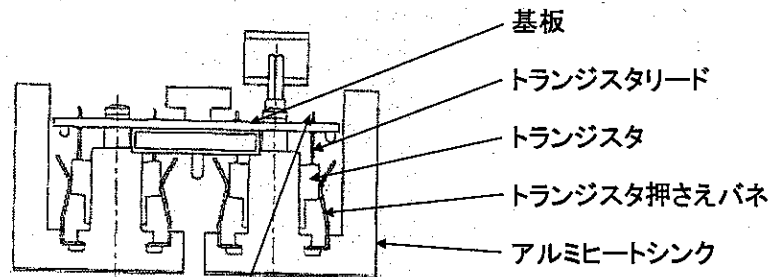
注: □は交換部品を示す。

基準不適合箇所

コントローラ内パワーモジュール



パワーモジュール断面図



基準不適合箇所: トランジスタのリードハンダ部溶損

基準不適合内容

車両走行制御コントローラにおいて、パワーモジュールのトランジスタの放熱性が不足しているため、トランジスタから発生する熱により高温になるものがある。
そのため、そのまま使用を続けると、トランジスタに過大電流が流れて破損し、走行不能になるおそれがある。

改善内容

全車両、当該コントローラを対策品と交換する。

対策後識別: 作業が終了したら、コントローラ上面のプリント板表面に白ペンキでマーキングする。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備考
SN	SB3B	8FB30P	小型特殊 -	フォークリフト	明電 SN2 定格出力 10.7KW	
SN	B4A	FB35PE	大型特殊 -	フォークリフト	明電 SN4 定格出力 10.3KW	
SN	B4B	FB40PE	大型特殊 -	フォークリフト	明電 SN4 定格出力 10.3KW	